

『看護科模擬授業課題』

(1) 日 時 令和7年〇月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年1組教室

(3) 学年・学級 第1学年1組(30名)

使用教科書(高等学校用 基礎看護 文部科学省)

副教材 (看護学入門6 基礎看護学Ⅱ メヂカルフレンド社)

(4) 単 元 名 第2章 日常生活と看護 第4節 活動・運動の援助 (文部科学省)

(5) 指導する児童(生徒)の状況

【既習事項】

活動・運動の援助を学習するために必要な内容については学習済み(人体の機能と構造、基礎看護(日常生活の理解、環境調整、食事と栄養、排泄の援助、休息と睡眠))。

【単元のねらい】

活動や運動が健康に及ぼす影響、ボディメカニクスの原理について理解するとともに、安全・安楽な移動と移送の方法に関する知識と技術を身に付ける。

【児童(生徒)の状況】

看護に対し興味関心はあるが、学習に対する取り組みや理解力において生徒間で差がみられる。また、日常生活体験が少なく、イメージする力が乏しいので技術の習得には時間を要する。

(6) 指導計画(全6時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第1次(1時間)	【移動の意義と目的】 ・日常生活活動における移動の意義を考える。	一斉 個別 ペアワーク	思考・判断・表現
第2次(1時間)	【車椅子への移乗・移送の目的・留意点と手順】 ・安全に移乗・移送を行う手順を原理・原則に基づいて理解する。 (1時間 本時) 教科書p. 78 副教材p. 170~174	一斉 個別 ペアワーク	知識・技術
第3次(1時間)	【ストレッチャーへの移乗・移送の目的・留意点と手順】 ・安全に移乗・移送を行う手順を原理・原則に基づいて理解する。	一斉 個別 ペアワーク	知識・技術
第4次(3時間) (実習3時間)	【車椅子、ストレッチャーによる移乗・移送の方法】 ・安全・安楽に移乗・移送を行う方法を身に付ける。(実習1時間)	一斉 個別 ペアワーク	知識・技術
	・患者、看護師の役割を通しての学びをまとめ、考えを表現する。(実習2時間)	一斉 個別 グループワーク	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。